

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領選挙に向けた動き

・23日、ストリレツ自由民主党議会会派代表は、大統領選挙は来年度予算の採択後に設定する必要がある旨発言。これに対し、ルプ大統領代行は、来年度予算の採択時期に関わらず、大統領選挙は12月中旬に実施すべきである旨発言。

・25日、議会は、議員101名中61名以上の出席が無かった場合に大統領選挙は不成立となることを明記した自由党発案の大統領選挙法改正法案を第一読会で採択。一方、スターチ共産党議員は、大統領選挙への出席を義務化しても大統領選出に資することは何もない旨非難。

▼ルプ大統領代行(民主党党首)の大統領選挙出馬表明

・22日、ルプ大統領代行は、大統領選挙に出馬する意向を表明、議会における大統領選出に失敗した際は、繰り上げ議会選挙と同時に大統領選挙の直接選挙への変更の是非を問う国民投票を実施する必要がある旨発言。同日、フィラト首相(自由民主党)は、大統領選挙においてルプ大統領代行を支持する用意がある旨発言。

・25日、ルプ大統領代行は、25日の大統領選挙法改正法案採択に伴い、野党・共産党議員の支持により大統領選出に成功する可能性が出てきたとし、共産党との対話を追求する旨発言。

▼その他

・23日、4日に共産党離党を表明したドドン議員(前第一副首相兼経済・貿易相)は、社会党(議会外政党)への加入を正式に表明。

2. 経済

▼財政

・24日、財務省は、IMFとの協議を踏まえた2012年国家予算案の改正案を議会に提出した旨報告。同予算案によれば、2012年国家予算の歳入は18億900万ドル、歳出は18億7,600万ドルとされ、国家赤字が6,750万ドルとの見積もり。2011年と比較して国家予算の赤字は47.5%減少する旨報告。

▼農業

・25日、ブマコフ農業食品産業相は、今年の農作物輸出は8億2,100万ドル(対前年比12%増)、輸入は6億1,400万ドル(対前年比3.6%増)と発表。

3. 外政

▼ラヴロフ露外相のモルドバ訪問

・22日、ラヴロフ露外相は、モルドバを訪問し、ルプ大統領

代行と会談。ラヴロフ外相はルプ大統領代行に、マクロ経済、人道、エネルギー、農業、労働、地域協力を含む露モルドバ友好協力協定を10年延長することを伝えた。ルプ大統領代行は両国の戦略的関係に言及しつつ、露軍が沿ドニエストルから撤退する必要があることを主張した。

▼レアンカ副首相兼外務・欧州統合相のドイツ訪問

・22～23日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相はドイツを訪問し、ハーベル外務次官、クリッパウム議会欧州問題委員会委員長等と会談。レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、EUとの深化した包括的自由貿易交渉開始とビザなし交流に関する活動計画に謳われている基準を満たすために必要な措置を中心に協議を実施した。

▼フィラト首相と欧州議会代表団との会談

・25日、フィラト首相は、マコベイ EU・モルドバ議会間協力委員会共同議長を団長とする欧州議会代表団と会談。欧州統合に向けたモルドバの行動、沿ドニエストル問題及びモルドバ内政につき協議した。フィラト首相は、EUとの深化した包括的自由貿易交渉開始の条件は整ったとして、近い将来に決定が下されることを期待する旨述べた。

4. 沿ドニエストル

▼フィラト首相とスミルノフ沿ドニエストル「大統領」との会談

・21日、フィラト・モルドバ首相とスミルノフ沿ドニエストル大統領は、ベンデル所在のOSCE事務所内で会談し、両者は、11月30日と12月1日に「5+2」のフォーマットに基づく沿ドニエストル問題解決のための公式会合が開催され、その結果としての継続交渉は定期的かつ建設的なものとすることに同意する共同声明に署名した。フィラト首相は、大統領選挙プロセスが沿ドニエストル問題の解決に影響することがあってはならない旨述べた。右会合に関しては、OSCE、EU、米国、ウクライナが歓迎の意を表明した。

▼その他

・21日、沿ドニエストル「中央選挙管理委員会」は、12月11日予定の「大統領」選挙の候補者登録を終了、「大統領」候補者としてスミルノフ「大統領」、カミンスキー「最高会議議長」、シェフチュク前「最高会議議長」等計5名を登録。

5. 防衛

・22日、ルプ大統領代行は、ラヴロフ露外相と会談、沿ドニエストル地域のロシア軍及び兵器の撤収の必要性を指摘。ラヴロフ露外相は、「5+2」者公式交渉の枠組みにおける問題解決を条件としたロシア軍及び兵器の撤収の用意がある旨発言。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)